

揺れる  
思春期

# 子どもの成長まんなかだ

学習塾「エルムアカデミー」講師

山口拓真さん

新学期が始まって1カ月が過ぎ、子どもたちは新しい学校生活に希望に胸を膨らませる一方で、勉強や友人関係に不安を抱いています。とりわけ、思春期を迎える中学生は複雑です。そんな子どもたちをどう受け止めれば良いのか。「すべての子どもたちに確かな学力を」「子どもの成長がまんなか」を教育の原点に「をスローガンに掲げる学習塾「エルムアカデミー」の山口拓真講師がアドバイスします。

新学期から1カ月がたち、子どもたちは新しい生活や人間関係づくりに期待と不安を抱きながら、模索を繰り返しているところですよ。

4月は多くの子どもたちが新鮮で前向きな気持ちで新学期を迎えています。増え、子どもたちは落ち着きにくく、さまざまな人間関係のトラブルが多くなる時期でもあります。



5月はいじめが発生しやすくなる時期と言われています。私たちは子ども

## 受け入れる環境づくり 学校とも連携を



入学から1カ月。期待と不安を抱いています

もたちの小さなサインを見逃さないよう、細心の注意を払っています。

### 難しくなる 親と子の会話

例えば、授業中に楽しそうに話していた子が急に無口になり、落ち込んだ様子を見せたり、逆に今まであまりしゃべらなかった子が急にはしゃぎだしたりすることは、学校で何かトラブルがあったときに多く見られます。

中学生は思春期真っ只中。親に話をするのが少なくなり、逆に反発をすることが多くなりま

す。中学生は思春期真っ只中。親に話をするのが少なくなり、逆に反発をすることが多くなりま

す。中学生は思春期真っ只中。親に話をするのが少なくなり、逆に反発をすることが多くなりま

す。また、部活や塾などの習い事で帰宅時間が遅くなってきます。親子でのコミュニケーションが難しくなり、子どもたちの話をゆっくり聞くことや、様子をじっくり見ることができにくくなると思います。

そんなときにどのようなことをすればいいのでしょうか？

まず、子どもたちをいつでも受け入れられる環境・雰囲気をつくることです。朝食や夕食をきちんとう用意してあげる、安心して寝られるような環境をつくるのが大切です。そうすることで子どもたちにとって家は安心できる場所になり、何かトラブルなどがあつたときに子どもたちも親に話をしやすくなります。

見守るため  
手を取り合う

また、学校と連携することです。子どもたちの様子で気になることがあ

つたらすぐに学校に連絡し、先生に相談してください。

その際に大切なのは、最初から「苦情を言う」という姿勢を取らないことです。「モンスターパーアレント」という言葉が世間に定着するようになってから、現場の先生たちは苦情を非常に怖がっています。一方的な苦情を言ってしまうと、先生たちも萎縮してしまい、うまく連携が取れなくなり、事態が解決するどころか悪化してしまうこともあります。「子どもの成長を一緒に支え、見守るために手を取り合ってください」ということが大切です。

先生だけではなく、他の保護者たちとも協力をし、たくさんの大人たちで子どもたちを見守り、支えていくことが大切です。

先生だけではなく、他の保護者たちとも協力をし、たくさんの大人たちで子どもたちを見守り、支えていくことが大切です。

先生だけではなく、他の保護者たちとも協力をし、たくさんの大人たちで子どもたちを見守り、支えていくことが大切です。